

年 組 名前:

問1 谷村一やむら しゅう小のタイムカプセルは半世紀はんせいきまえ前、

- ①を記念して作り、当時の児童約②人分の
- ③などを入れ、④に合わせて開きました。
- ①～④に入る言葉、数字は何ですか。

- ① 「 _____ 」
- ② 「 _____ 人分にんぶん 」
- ③ 「 _____ 」
- ④ 「 _____ 」

問2 次の漢字の読み方を書いてください。

- ・保管 「 _____ 」
- ・確認 「 _____ 」
- ・担任 「 _____ 」
- ・個性 「 _____ 」

問3 あなたの学校で半世紀はんせいきご後に開く

タイムカプセルつくを作ることになったら、
50年後の自分ねんごにどんな手紙てがみを出しますか。
書いてください。

.....

.....

.....



タイムカプセルに入っていた品を手に取り、小学生時代を懐かしむ参加者
—都留・谷村一小



50年前の思い出に感慨

谷村一小記念カプセル開封

半世紀前のタイムカプセル開封。1972年に都留・谷村一小の当時の児童の作文や絵画、写真などを入れたタイムカプセルが25日、開封された。50、60歳代になった当時の児童らが集まり、小学生時代に思いをはせた。タイムカプセルは同校の創立100周年を記念して作り、150周年に合わせて開封しようと、中に当時の1、6年生約1200人分の手紙や作品などを入れて封印。校内で保管してきた。25日は開封式が行われ、当時と現在の児童や教員が参加。当時1〜6年生だった6人がステンレス製のカプセルのボルトを外し、カウントダウンとともに開け、中身を確認した。

当時5年生だった都留市小野の保育教諭権守詩子さん(60)は「同級生や担任教諭に会うことができ、思い出を語り合って昔を思い出せた」と感想。当時5年生で創立150周年記念事業の実行委員長の西沢謙四郎さん(61)は「当時の児童の思い出が詰まったカプセルを無事に開封できて良かった」と語った。

タイムカプセルに入っていた品は29、30日、5月1日に同校の体育館で卒業生らに引き渡す。カプセルには、新たに現在の児童らの作品を入れ、2072年に開封する予定。6年生の三森暖琉君は「50年後の開封が楽しみ。個性が豊かで楽しい学校が、ずっと残ってほしい」と話した。

〔深沢博〕

(2022年4月26日付 山梨日日新聞 23面)